



飛騨っ子

令和3年7月20日 発行 NO5
飛騨県事務所 振興防災課 振興防災係
家庭教育推進専門職：水口 悟
TEL：0577-33-1111（内線235）
E-mail：mizuguchi-satoru@pref.gifu.lg.jp



取組を 見える化 しよう！

I 飛騨市立神岡中学校（講演会型＋在宅取組型 基本的な生活習慣）

大切な子ども達を、自分自身を守るために

- ① SNS, コミュニケーションアプリに潜む危険
家族がルールを一つに
ルールを守る！ 自分を守る！
- ② 約束を作ることの大切さ
→ フィルタリング
→ ルール作り（ペアレンタルコントロール）
- ③ 約束を守るためのルール

- 期 日 令和3年6月17日（木）
- 対 象 中学1年生の親子
- テーマ SNSの危険について親子で学ぼう
- 講 師 飛騨警察署神岡警部交番 所長さん

わが家の約束運動（①約束づくり②親子の会話③カードに記録）につなげ、「家族がルールを一つに」を合言葉に、親子が約束を見える化し共有する姿が印象的でした。



◇SNS親子学習振り返り（実践カードより）

Q1 今回の学習会で感じたことや話し合ったこと（生徒）

- ・ SNSは使い方を間違えると犯罪に巻き込まれるなど、大変なことになることが分かった。個人情報漏らすようなことはしないように気をつけたい。

- ・ SNSの怖さを改めて知ることができた。大変便利なものではあるけど、毎回毎回確かめながら利用したい。

（保護者）

- ・ 大人でも理解できないところがあるので気をつけなければいけません。動画の例のように巻き込まれないようにするためには、本日のような機会が大切だと思いました。
- ・ 犯罪も日々進化していて、大人も追いつけていない事例も多々あります。なくてはならない物になった今、上手に使っていけるよう親子でしっかり話し合っていかなければなりません。

Q2 親子で決め、共有した「SNS利用の約束」

- ・ 見るのは、ユーチューブとネットのみ。投稿はしない。
- ・ 平日は午後10時まで：使用時間2時間。休日は午後10時まで：使用時間3時間。

Q3 学習後、新たに作った約束や、設定した内容（ペアレンタルコントロール等）

- ・ 約束を破ったら1ヶ月見ない。午後8時30分まで。見ていいのは火・金の30分。
- ・ まだスマートフォンは持たせていないし、SNSは利用していないがゲームをオンラインで使っているの、使用時間をオーバーした場合は、次の日の使用は半分の時間にする。



2 飛騨市立河合小学校（学校行事参加型 基本的な生活習慣）

本日の献立

（麦ごはん・鶏肉のレモンあげ・大根の浅づけ・夏豚汁）

夏 豚 汁		作り方
材料＜4人分＞		
・ 豚こま肉	30g	① ナス（いちょう切）、じゃがいも（短冊）、オクラ（輪切）、豆腐（四角）、ねぎ（小口）に切る。
・ なす	70g	② 鍋に豚肉とニンニクをいれ炒める。
・ じゃがいも	140g	③ 別の鍋でAで出汁をとる。
・ オクラ	25g	④ ①と出汁を合わせて煮る。
・ 木綿豆腐	60g	⑤ 野菜が煮えたら、豆腐とネギを入れる。
・ ねぎ	20g	⑥ 味噌と一味を入れて少し煮たら完成。
・ ニンニク	2g	
・ みぞ	20g	
A 削り節	(300cc) 6g	*汁物は、具だくさんにするので、みぞの量を減らし、塩分をおさえることができます。 また、いろいろな食材の栄養素をたっぷりとることができそうです。
A 煮干し	(300cc) 6g	
・ 一味	少々	



- 期 日 令和3年7月2日（金）
- 対 象 1・2年生の親子，母親委員長
- テーマ 食の大切さ
- 講 師 栄養職員さん

自校給食，素晴らしい！お昼近くになると校舎内にとってもいい香りが広がってきます。普段は，ランチルームで全校児童と全校職員と一緒に，給食をいただきます。食を通してあたたかな人間関係が醸成されます。小規模校のよさは全校の児童や職員を，家族の一員として経営できることです。

メニューの中でも，出来立ての「うどんやパスタ」「ピザトーストやフレンチトースト」が魅力で，この日を楽しみにしている児童や職員が多いそうです。

コロナ禍，ランチルームでは1～4年生までの児童が間隔をとり，同じ方向を向いて黙食をしていました。また，保護者の皆さんは，ガラス戸越しの参観です。「目が合うと箸が止まる！」と，わが子の緊張ぶり見て，保護者の方がつぶやかれました。

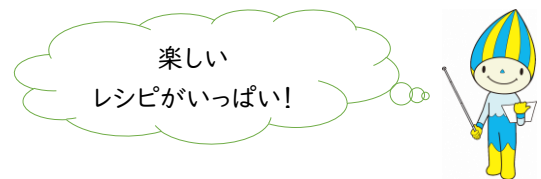
栄養職員による和食文化を取り入れる，世界のメニューを知る，成長期に必要な栄養価，感謝の心の育成，減塩について等々の説明は，実に科学的でわかりやすい。最後に栄養職員さんが紹介された「岐阜県学校栄養士会などによるレシピ」は，学校行事参加型で得た情報を家庭教育に結び付ける有効な手立てになっています。

- 検索** ・岐阜県学校栄養士会 「ぎふ自慢の学校給食 ～簡単!おいしい!給食レシピ～」
 ・岐阜県学校給食会 「おうちで作ろう!」「R2私が考えた学校給食メニュー コンクール」など

3 下呂市立宮田小学校（学校行事参加型 自立心）



- 期 日 令和3年7月6日（火）
 - 対 象 全保護者（宝物発表会+PTA主催講演会）
 - テーマ 不測の時代を生き抜く子どもを育てるために
 - 講 師 近藤 聡さん
- NPO 法人 心をつなぐホースセラピーぐりんはあと理事長等



- Q. 日々の子育てで，重要だと思っていることは何ですか？
 Q. お子さんの自立力やコミュニケーション力の育ち具合はどうですか？

同じ講師の方から、継続的にじっくり学ぶ家庭教育学級の開催は、学習の積み上げができ効果的です。今回は、子どもたちの発達段階（低学年：7歳前後と高学年：10歳前後）の特性から、子育ての在り方を中心にお話をされました。

わが子育てを見つめる

慌ただしい日常生活の中で、意図的に「わが子育てについて立ち止まる時間」をとることは重要です。それは、家庭教育学級のねらいでもあります。参加者は、親としての在り方を突き付けられる質問(Q)にドキッとします。例え文字にならなくとも、この一瞬を参加者皆さんで共有すること自体が大切です。

ガミガミ(過干渉:指示・命令)からの卒業

例えば、「洗濯物はこのかごに入れよう」というメモを掲示するなど、「言葉を見える化」することの大切さを紹介されました。親の気持ちを言葉で可視化することで、わが子に指示をすることが減ります。そして、わが子に褒める言葉(ありがとう・助かった・頼りになる)をかける機会につながります。

他人の子育てを聞く機会

「期待しているがゆえに感情的(ガミガミ)になってしまうんやさな。」と保護者の方がぼつり。「改めて、他人の子育てを聞くことの大切さを感じます。」と、もう一人の方が言われました。参加者皆さんの子育てネットワークが、とても気持ちよいです。みんなで子育てすることが大切です。

最後、講師の方が「子どもの変化を感じている自分の変化に気付く幸せ」を大切にしてください。」とまとめられました。

4 企業内家庭教育研修(基本的な生活習慣)

本日の講座の内容

1. スマホの基本
2. 多発するトラブル
3. 個人は特定できる!?
4. 利用するときの心構え
5. スマホを介したトラブル事例と対策
6. まとめ



- 期 日 令和3年6月28日(月)
- 対 象 児童福祉施設の職員
- テー マ スマホのトラブルから身を守るために
- 講 師 飛騨県事務所 消費生活相談員さん

「ネットリテラシーや肖像権、個人情報の取り扱いの注意点について、今の小学生の子ども達にどう伝えていけばよいのか」、「どのように家族でスマートフォンの管理の仕方を意識してもらえばよいのか」・・・参加者の切実な思いです。

参加者の皆さんが、講師の方による「フィッシング被害」「フリマアプリの危険性」などの具体的な説明を、自分の経験と照らし合わせながら理解を進めていきます。また、怪しいサイトの一例から怪しい箇所を探すワークショップでは、皆さんがいくつもの点を意欲的に見

つけ交流をしました。企業内の同僚とともに学ぶ家庭教育研修は、ともにワーク・ライフ・バランス思考を高める機会となります。

<参加者の感想>

より子どもにとって身近なのはスマホゲームなので、特にこの内容について子どもたちに伝えていなくてはならないと感じました。今回の研修にあったように、クイズ形式で子どもたち自身に便利さとリスクを考え学べるような伝え方が大切であることがわかりました。



6. まとめ

- ★ 安心・安全に100%はありません。
- ★ 情報は客観的に見ましょう。
- ★ 困った時は相談しましょう。

消費生活相談窓口
岐阜県 飛騨県事務所(月・火・木・金 午前8時30分~午後4時45分)
※午後0時~午後1時を除きます
0577-33-1111(内線430)

消費者ホットライン
局番なしの 188 (いやや泣き寝入り)

